

【資料 1 - 1】

各分科会からの報告について

【グループ 1】

(1) 評価施策

・重点プロジェクト

重点プロジェクト①【市民力】 将来を見据え人を育み、活かすまちづくり

・分野別施策（計 13 項）

第 4 章 まちづくり（3 項）、第 5 章 教育・文化・スポーツ（6 項）、

第 7 章 行財政経営（4 項）

(2) 分科会名簿

役 職	氏 名	所 属 等
分科会長	柳井 雅也	東北学院大学 教授
	松橋 綾子	アイリスオーヤマ(株) 安全衛生課マネージャー
	吉田 晃理	J A X A 角田宇宙センター 角田管理課長
	毒島 弘美	角田市教育委員会 委員

(3) 分科会開催状況

・日 時

令和 6 年 6 月 6 日（木） 10：00～12：00

・出席委員

柳井委員長、松橋委員、毒島委員、吉田委員

(4) 分科会で出た主な意見

・重点プロジェクト

重点プロジェクト （【資料 1-3】 対応ページ）	主な意見
① 将来を見据え人を育み、活かすまちづくり【市民力】 (1 P～3 P)	・ 市民が主役ということであれば、市民が地域課題をどう考えているのか、ニーズ把握をして行政に生かしていくことが必要だと考える。（松橋委員） ・ 人口 3 万程度の都市としては NPO の数が感覚としては少ない。ただ、形式的に増やしてもほとんど継続しない。一番肝になるのは市民参加→意識付け→NPO 作ろうとい

	うのが自然な流れだと思っている。まちづくりへの参加者が変わると意見が変わり、意見が変わるとまち作りの角度も変わってくる。角度も変わってくると深さも変わってくる。アプローチをもっと野心的に仕掛けていければ長期総合計画も生きてくる。(柳井分科会長)
--	--

・分野別施策

分野別施策 （【資料 1-2】対応ページ）	主な意見
第 5 章 1 節 1 項 学力・心・体の育成 （P 4 2 ～ P 4 3）	・設問が大雑把すぎて子供たちが安易に丸をつけてしまい そんな設問に感じる。子供たちが何を考えているのかを掘 り出すようなことが大事ではないかと思う。(毒島委員)
第 5 章 1 節 2 項 時代の要請に応える教育環 境の整備 （P 4 4 ～ P 4 5）	・ ICT 等、国全体が力を入れてる箇所については達成率が 高いが、トイレや給食センターの不具合等の基本的なところ ができていないと感じる。むしろこのような部分をしっ かりやらなければ、ちゃんとした教育はできないのでは ないか。若者が居つくためには綺麗な建物や綺麗な部屋が大 事だと感じている。それがずっとそこにいたいという気持ち にさせるっていうところがある。環境整備や施設の更新 が子供の郷土愛とかにも繋がっていくと思う。(柳井分科 会長)
第 7 章 1 節 1 項 広報活動による情報発信 （P 6 8）	・各課で手探りで情報発信を行っているとは推察する。成功 事例について情報を集約して他の課に水平展開していく とノウハウがどんどん拡散されて情報発信も質が高くな っていくと思う (吉田委員)
第 7 章 1 節 2 項 広聴活動の推進 （P 6 9）	パブリックコメントについてコメントが少ないという 回答だったが、もっと積極的に市民から意見をいただける ような PR 活動が必要なのではないか (毒島委員)

(5) 全体会での再評価とした分野別施策

分野別施策 （【資料 1-2】対応ページ）	再評価とした理由
なし	

【グループ 2】

(1) 評価施策

・重点プロジェクト

重点プロジェクト②【地域共生】ともに生き、活かし合うまちづくり

・分野別施策（計 14 項）

第 1 章 安心・安全（3 項）、第 2 章 保健・医療・福祉（11 項）

(2) 分科会名簿

役 職	氏 名	所 属 等
分科会長	森 明人	東北福祉大学 准教授
	磯部 裕子	宮城学院女子大学 教授
	遠藤 恵美子	角田光の子保育園 園長
	安藤 由紀子	角田市医師会

(3) 分科会開催状況

・日 時

令和 6 年 6 月 6 日（木） 13：30～15：30

・出席委員

森委員、磯部委員（オンラインでの出席）、遠藤委員、安藤委員

(4) 分科会で出た主な意見

・重点プロジェクト

重点プロジェクト （【資料 1-3】対応ページ）	主な意見
②ともに生き、活かし合うまちづくり 【地域共生】 (4 P～6 P)	・市民意識の調査がないので分析ができないという項目が 2 項目ある。紙でのアンケートは事業費もかかり手間もかかるが、QR コードでアンケートを取ることは容易にできるようになってきている。全市民に意識調査をするのは難しいが、一部の市民からアンケートを取ることで傾向を見ることはできると思う。（磯部委員）

・分野別施策

分野別施策 （【資料 1-2】 対応ページ）	主な意見
第 2 章 1 節 1 項 健康づくりの推進 (P 5)	・素晴らしい取り組みをしていると感じる。市民も自分たちでフレイル予防などの意識がかなり高まってきているのを実感している。（安藤委員）
第 2 章 2 節 2 項 乳幼児の保育・教育 (P 1 0)	・量から質へと変わってきており、現場にいるものとしてどのように対処していくべきか考えている。また、集団に入っていないお子さんや病児保育のフォローが手厚くなるとパーセンテージが上がるのではないかと考えている。（遠藤委員）
第 2 章 2 節 3 項 学童保育・子どもの遊び場の充実 (P 1 1～P 1 2)	・いくつかの保育の場を閉鎖するときの次への約束として、子供たちの遊び場を充実させます、できれば室内の遊び場を作る方向で検討しますということを話題にしてきた。スポーツ交流館の取り組みについては評価したいと思うが遊び場を新たに作るには大きな予算がかかり、すぐにはすすめられないと理解しているが、何らかこれに関わる取り組みを進めていかなければならないと思っている。（磯部委員） ・学童保育については学童保育の場所だけ充実を図っていくと非常に狭く広がりがない。地域を巻き込んだ横断的なところに子供がいるという、居場所作りっていうのもあわせてあった方がいい。学童保育だけではまかないきれないところがあるのが現状だと思っている。（遠藤委員）
第 2 章 3 節 3 項 高齢者福祉サービスの充実 (P 1 6)	・指標に違和感がある。高齢者福祉サービスのメニューが豊富になってその利用率が上がったかっていうところがポイントになってくるかと思うが、シルバー人材センターの会員数が上がっても、直接その体制の充実等には繋がらない。（森分科会長）

（５）全体会での再評価とした分野別施策

分野別施策 （【資料 1-2】 対応ページ）	再評価とした理由
なし	

【グループ 3】

(1) 評価施策

・重点プロジェクト

重点プロジェクト③【地域資源フル活用】地域資源を活かすまちづくり

・分野別施策（計 19 項）

第 3 章 産業振興・就労（9 項）、第 6 章 都市基盤・生活環境（10 項）

(2) 分科会名簿

役 職	氏 名	所 属 等
分科会長	加藤 泰彦	角田市商工会 会長
	杉 裕太	七十七銀行 角田支店 支店長
	中嶋 厚次	日立 Astemo(株) 人財統括本部 HR シェアードサービス部 宮城総務安全衛生課長 マネージャー
	齋藤 仁	みやぎ仙南農業協同組合 理事
	菅原 正義	大河原地方振興事務所 地方振興部長
	戸田 宏士	司法書士

(3) 分科会開催状況

・日 時

令和 6 年 6 月 6 日（木） 13：30～16：00

・出席委員

加藤副委員長、杉委員、中嶋委員、齋藤委員、菅原委員、戸田委員

(4) 分科会で出た主な意見

・重点プロジェクト

重点プロジェクト （【資料 1-3】対応ページ）	主な意見
③地域資源を活かすまちづくり【地域資源フル活用】 （7P～11P）	特になし。

・分野別施策

分野別施策 （【資料 1-2】 対応ページ）	主な意見
第 3 章 1 節 4 項 森林資源の有効活用 (P 2 7)	・山林の所有者が亡くなり相続すると、相続した方は山林の場所が分からなかったりする。可能であれば地図に落として見える化して示すのが良いかと思う。自分の山の位置を知って感心を持ってもらうことが必要。（齋藤委員）
第 3 章 2 節 2 項 企業立地の振興 (P 3 0)	・企業誘致は大きなインパクトになる。やはり力を入れてやっていただきたい。（加藤分科会長） ・山元 I C を下りて、トンネルからの周りなどいいのではないか。また、角田橋がもう少し幅広くなると良い。（戸田委員）
第 3 章 3 節 1 項 地域観光資源のネットワーク化 (P 3 4)	・新しい観光施設を作っていくことも必要ではないか。グラライダーの発着場がもったいないと常々思っている。グラライダーを飛ばせる条件が整っている環境は貴重。もっと観光資源として活用できないか。（戸田委員）
第 6 章 1 節 2 項 公共交通システムの存続 ・利便性向上 (P 5 5)	・K P I 前期目標は達成しているが、これでもまだまだなのであれば、K P I とは別に目標を立ててそれに向けて施策を行うべきではないか。（菅原委員）
第 6 章 2 節 1 項 快適な住環境づくり (P 5 7)	・市営住宅について空室が増えてきて、一部の住宅については改修せず解体し、駐車場の確保をすることとしているとのことだが、路線変更することも必要だと考える（杉委員）

（５）全体会での再評価とした分野別施策

分野別施策 （【資料 1-2】 対応ページ）	再評価とした理由
第 6 章 1 節 3 項 河川環境の有効活用 (P 5 6)	・やや辛口な評価をしていると感じる。天候が理由で利用者数が減っているとのことで、自然環境が相手であるので「やや遅れている」から「概ね順調」という評価としたい。
第 6 章 3 節 2 項 循環型社会の形成 (P 6 4)	・「資源となるものがスーパーで回収され、資源とならないものが市に出されることによって市としてのリサイクル率が上がっていない」との説明であったが、スーパーで回収されてリサイクルされているのであれば、問題ないように感じる。「やや遅れている」から「概ね順調」という評価としたい。

その他全体に関わる意見等

【グループ 1】

○KPI の達成率が高すぎる数字が出ているものが散見される。データの扱い方としてあまり適切ではない。また、KPI の目標値について、「平均値」や「最高値」など恣意的に設定されているが、各施策の整合を図りながら根拠を検討していただきたい。

○KPI の実績値が出ていない項目についてどのように評価したらよいか。後期計画で KPI を設定する際にはサブの KPI を定めておく等の検討をお願いしたい。

【グループ 2】

○下記の分野別施策に設定されている KPI の指標について、見直しの検討が必要ではないかとの意見が出された。

分野別施策 （【資料 1-2】対応ページ）	KPI 指標名	理由
第 2 章 1 節 2 項 疾病・感染症予防の推進 (P 6)	胃がん検診受診率	「疾病感染症予防の推進」という項目について、胃がん検診受診率で KPI の達成状況を見ることが適切かどうか。
第 2 章 1 節 3 項 地域医療体制の充実 (P 7)	市内産科医・小児科医数【累計】	「地域医療体制の充実」という項目なので共通して目指すべきその取り組みや評価しやすい取組みを設定できるのではないかな。
第 2 章 2 節 2 項 乳幼児の保育・教育 (P 1 0)	待機児童数	待機児童数は少子化の中でこれからは増えない。この指標だとずっといい成績になる。
第 2 章 3 節 1 項 地域福祉活動の支援 (P 1 3)	地域づくりに関する住民向け研修会の参加者数	施策の成果のところ、「福祉意識の向上が図られた」と、記載があるが、参加者数を測っており、福祉意識の向上が図られたとまではこの指標では言いにくい。
第 2 章 3 節 3 項 高齢者福祉サービスの充実 (P 1 6)	シルバー人材センター会員数	シルバー人材センターの会員数が上がっても、直接その体制の充実等には繋がらない。

【グループ3】

○R4 との比較が出ているので、R4 に比べて何が良くなったのか、何が悪くなったのか比べてしまう。実績値の分析などから、年度間での変化が読み取れると良いと思う。(菅原委員)

○目指すゴールが漠然としていると何を目標に設定しても対策ができない。「活性化を図ります」では、何をやっても活性化に繋がることにできるし、具体策が出てこない。何をしたいか、具体的に示さないと。K P I に縛られてしまうと、実際にやりたいことが出来ないことにもつながる。あまりとらわれずにプラス α の施策をやっていかないといけない。(中嶋委員)

○実績値の分析について、ここに書くべきはK P I の数値と実績を比べた時に、なんでその数値になっているのか、これをどう捉えているのかということを書くべき。今書かれているのは算定根拠にとどまっている。前年と比較して、なぜそうなったのか？を繰り返していくことで分析が深くなっていく。(中嶋委員)